



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

ノーベル物理学賞 受賞記念講演会



東京大学大学院理学系研究科 附属ビッグバン宇宙国際研究センター
共催： 物理学専攻・地球惑星科学専攻

日 時： 2019年12月11日(水) 17:00 ~ 18:20
場 所： 理学部4号館2階1220号室

「宇宙進化と太陽系外惑星が切り拓いた新たな世界観： 2019年ノーベル物理学賞紹介」

2019年度のノーベル物理学賞は、「物理的宇宙論における数々の理論的発見」(theoretical discoveries in physical cosmology)に対して米国プリンストン大のジェームズ・ピーブルズ教授に、「太陽と似た恒星の周りを公転する系外惑星の発見」(the discovery of an exoplanet orbiting a solar-type star)に対してスイス・ジュネーブ大のミシェル・マイヨール教授と同大及び英国ケンブリッジ大学のディディエ・ケロー教授に授与されることになりました。この3名の業績は「宇宙の進化と宇宙における地球の立ち位置に関する人類の理解への貢献」(contributions to our understanding of the evolution of the universe and Earth's place in the cosmos)であると総括されています。

ビッグバン宇宙国際研究センターでは、宇宙の起源と進化、重力波天体物理学、星と惑星系の起源と進化を3つの主要プロジェクトとして推進しています。今回は、宇宙物理学を専門としていない学部学生以上を念頭に置き、2019年度のノーベル物理学賞受賞対象となった研究を紹介する講演会を開催します。興味をお持ちの方々のご参加を歓迎いたします。

プログラム

司会： 横山順一（ビッグバン宇宙国際研究センター）

吉田直紀（物理学専攻、カブリ IPMU）： 宇宙論の物理と大規模構造の形成

須藤靖（物理学専攻）： 太陽系外惑星系の普遍性と多様性

※ 16:30 から会場前に茶菓を準備していますのでご利用ください。